

事業所における自己評価結果（公表）

別紙 3

公表： 令和 3 年 3 月 13 日

事業所名 くにたち発達支援センター

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10 (71%)	4 (29%)	・部屋のコーナー等を使い、注目する場所、活動する場所等、目的により使い分けをしています。 ・園庭等、有効に活用しています。 ・活動に必要なものはすぐに片づけています。 ・大部屋（だいち）は、3つのグループが計画的に使えるよう調整をしています。	
	② 職員の配置数は適切であるか	6 (43%)	8 (57%)	・障害者総合支援法に基づき、職員を配置しています。 ・入所が間もない児童は、不安定になりやすく個別対応が必要なケースに対応し、支援体制を組んでいます。	・児童の支援に対し、常に適切に対応ができるよう担当者間での情報交換を進めます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になれているか	9 (64%)	5 (36%)	・席の配置や組み合わせに配慮する、絵カードやマカトンサインの活用を進め、視覚的構造化を図っています。	・絵カード、掲示物等を活用し、視覚的に分かりやすい環境にします。 ・聴覚的にも、はっきりとした言葉、短い単語を活用し、わかりやすい話し方をします。 ・引き続き、療育に必要な机や椅子等、用品の数を計画的に確保していきます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8 (57%)	6 (43%)	・毎朝、清掃、消毒を実施し清潔な環境を心がけています。 ・児童が安全に生活できるよう、適宜、施設改善や物品等の購入を進めています。 ・児童の実態に合わせた活動空間を用意しています。	・安全の為、施設をしています。自分で開けることができる児童に対しては、安全に対する理解を深める支援を進めます。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	12 (86%)	2 (14%)	・職員朝会では、一日の確認と同時に療育の申し送りを実施しています。その内容は非常勤職員にも確認できるように記録を残しています。	・日々の療育は、P(計画)、D(実行)、C(評価)、A(改善)に則り、ステップアップは、改善から計画につながることを意識し大切にします。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	13 (93%)	1 (7%)	・保護者の皆様による評価（アンケート）や日々いただくご意見を基にし業務改善につなげています。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	12 (86%)	2 (14%)	・自己評価（保護者・事業所）結果につきましては、検討結果を踏まえ、センターだより、ホームページを活用し公開いたします。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	12 (86%)	2 (14%)		・令和6年度に第三者評価を受審する予定です。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12 (86%)	2 (14%)	・年間計画をたて、事業所内、法人内、外部研修へ参加し、専門性を高めることに務めています。	・研修の内容として、毎日の療育に生かせるもの、より実践につながるものを精選し、繰り返し実施していきます。
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	14 (100%)		・児童や保護者のニーズを把握し、発達検査を実施した上で、実態と課題を整理し支援計画を作成しています。	・児童発達支援管理者と支援担当者による共通した児童理解となるよう準備を進めています。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	13 (93%)	1 (7%)	・法人で統一されたアセスメントツールを使用しています。	

適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14 (100%)		<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族支援が必要な方に対して、個別支援計画の中に項目を設けています。 ・全ての項目に関して情報を盛り込み、課題を整理し作成しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・併用先の幼稚園や保育園に訪問し、情報を交換し、統一した支援が行えるよう準備を進めています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14 (100%)		<ul style="list-style-type: none"> ・日々のケース記録に個別支援計画の項目を記録し、記録に基づき支援の改善を図っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月のモニタリングでは、課題がより鮮明となるようを進めます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	12 (86%)	2 (14%)	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループ内の担当者が中心になり立案しています。月案に関しては、担当職員が全員参加しプログラムの検討をすすめ、作成する会を設けています。 	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	14 (100%)		<ul style="list-style-type: none"> ・他施設との情報交換や研修等で得られた知識と情報を踏まえ、プログラムを立案しています。固定化しないように心がけています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態やグループの構成上、反復の支援も必要と判断し課題設定をしています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	11 (79%)	3 (21%)	<ul style="list-style-type: none"> ・個別と集団を準備し、状況に応じて対応できる組み合わせと環境設定を行っています。 ・個別支援計画とは別に個別課題プログラムを作成して支援を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材等の開発を進め、教材の充実に努めています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9 (64%)	5 (36%)	<ul style="list-style-type: none"> ・月案、日案に基づき、朝礼時、その日の活動の目的やねらいを一人一人確認する時間を設け、支援を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日案を作成する（2日前まで）際、担当者間で一人一人の活動と課題を確認しています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10 (71%)	4 (29%)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の退所後、本日の支援のまとめ行い、活動の達成度、各児童の様子について検証しています。記録を残し申し送りとしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の目標を基準として、活動でのねらいを設定しています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11 (79%)	3 (21%)	<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りを基に、ケース記録へ反映し、翌日の朝礼にて全体報告を行っています。 ・活動時の課題を検証し、次回の活動の課題を検討しています。 	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	11 (79%)	3 (21%)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用の児童に対しては、初回利用から1カ月後にモニタリングを行い、実態に合わせて見直しを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に本人、保護者と面談し、達成度を確認しながら評価を行なう形を取ります。今後は、相談支援専門員との情報共有や関係職員参加のもと、個別支援計画検討会議を実施していきます。
	関係機関や保護者との	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11 (79%)	3 (21%)	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者及び児童発達支援管理責任者が同席しています。
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	11 (79%)	3 (21%)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康センターや、子育て家庭支援センター及び相談支援事業所、また、市しょうがい支援課相談支援係と連絡調整を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・併用先の幼稚園・保育園等に訪問し、計画内容及び課題を共有し、得られた情報を基に、支援計画に活かしていきます。
㉓		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	12 (86%)	2 (14%)	<ul style="list-style-type: none"> ・連携して支援が行えるよう、健康センターや子ども家庭支援センター及び医師会と連携し、実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じ、関係機関との積極的な連携を大切にします。
㉔		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	12 (86%)	2 (14%)	<ul style="list-style-type: none"> ・連携して支援が行えるよう、子ども家庭支援センターや医師会と連携し、実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じ、関係機関との積極的な連携を大切にします。
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4 (29%)	10 (72%)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関や幼稚園会・保育所会等への挨拶を済ませ、情報共有や提供の依頼をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染対策により、見学や訪問はできなかったが、電話等により情報共有を実施しました。 ・今後は、幼稚園・保育園等に情報提供シートを依頼し、訪問をとおし情報共有を行ない、実態等が分かりやすくなるよう工夫します。

連携関係機関や保護者との連携	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6 (43%)	8 (57%)	・就学相談資料の作成を行っています。	・来年度、就学対象となる児童が若干名在所しています。年間の流れを確認し、関係機関との連携や保護者への情報提供を適宜進めていきます。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8 (57%)	6 (43%)	・国立市の児童発達支援事業所連絡会や知的発達部会に参加し、今後に向け協力依頼を行っています。 ・国立市の子育て支援プログラムに研修として参加し、必要な情報収集に努め、保護者支援に活かせるよう工夫しています。	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5 (36%)	9 (64%)	・近隣の保育園と交流を実施する計画をしています。	・近隣の保育園等との交流会を予定していますが、新型コロナウイルス感染症対策の為、実施は未定です。
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7 (50%)	7 (50%)	・国立市より依頼があった場合は必ず児童発達連絡会に参加しています。 ・国立市内の関係する事業所と新たに事業所連絡会を立ち上げました。	・関係事業所との情報交換の場を開催していきます。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10 (71%)	4 (29%)	・連絡帳で保護者との情報共有や、保護者がセンターへの送迎時お互いの様子を伝え合うことを実施しています。	・ご家庭でのことや、併用している幼稚園、保育園での様子を伺い、様々な状況での課題を把握し支援につなげます。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	6 (43%)	8 (57%)	・国立市の子育て支援プログラムに研修として参加しています。 ・専門的な知識や情報収集を実施し、保護者支援に活かせるよう準備しています。	
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	13 (93%)	1 (7%)	・利用契約の際に運営規程、重要事項説明書の説明を行なっています。また、変更があった場合は、文書にてお伝えしています。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	14 (100%)		・ケース記録を基にし、モニタリングとアセスメントから得られた情報を課題の整理表に記載しています。それらの経緯を踏まえ、新たな目標の設定をしたことを面談で説明し同意を得ています。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9 (64%)	5 (36%)	・個別支援計画の説明及び同意、交付の面談以外にも面談を実施し、悩み等の共有化を図っています。相談があれば随時行っています。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5 (36%)	9 (64%)	・今後、保護者同士の意見交換や、情報共有のできる場面を開催し支援していきます。	
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13 (93%)	1 (7%)	・相談や申し入れ等、受付担当者や解決責任者、第三者委員等の体制を整備し、素早く対応できるようにしています。	・苦情・相談・称賛等があった場合、台帳記録を行い職員間で共有し、改善に努めます。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13 (93%)	1 (7%)	・センター便りを毎月発行し、保護者への理解啓発に取り組んでいます。 ・各グループの月予定では、行事予定や活動内容など発信しています。 ・職員の連携体制は事業所内に掲示をしています。	
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	13 (93%)	1 (7%)	・個人情報保護法ガイドラインとマニュアルを整備し、職員に周知しています。 ・契約時に個人情報の取り扱いについて説明をし同意をいただいています。同意の基に配布物、掲示物、HP原稿等の作成をしています。	
③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13 (93%)	1 (7%)	・絵やカード、手話的なサイン等で説明をし、児童の障害特性に応じ専門職へ相談し対応をしています。		

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4 (28%)	10 (72%)	・今後、行事等で近隣住民に協力の依頼をすることを検討しています。	
非常時等の対応	④⑪	感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	13 (93%)	1 (7%)	・各マニュアル等、感染症時の対応に関する研修の実施や、自然災害等を想定した避難訓練を実施しています。	・引き渡し訓練を計画し、実施する予定です。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14 (100%)		・毎月1回、火災、地震、不審者を想定し避難訓練を実施しています。	・消防署員の立ち合いの下、避難訓練や消火訓練を実施し、講評をいただく予定です。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	14 (100%)		・標準化された様式を使用し、契約時に必ず確認を実施しています。 ・センターにて与薬する際は、必ず与薬依頼書の提出をご家族にお願いしてから与薬を行っています。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13 (93%)	1 (7%)	・標準化された様式を使用し、契約時、必ず確認を実施しています。	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12 (86%)	2 (14%)	・ヒヤリハット報告書を作成しています。事例が発生した際には、朝礼や回覧等で全職員へ周知を行っています。	・毎月の職員会議で対応策の経過報告を行い再発防止に努めます。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	13 (93%)	1 (7%)	・法人内に人権擁護委員会を設置しています。 ・センター内でも「虐待防止チェック」を実施し、その集計結果を基に研修を行い権利擁護に努めています。	・「その言葉かけ良いのかな」と疑問に感じることを大切に、職員全体で意識化する研修と環境作りを常に心がけます。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	11 (79%)	3 (21%)	・身体拘束マニュアルや同意書等の整備を行ない、研修や日々朝礼等で確認を進めています。	

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

別紙4

公表： 令和3年 3 月 13 日

事業所名 くにたち発達支援センター

保護者等数（児童数） 16 回収数 15 割合 94 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100% (15)				・広くて活動しやすそうです。 ・かなり広々としたスペースで走り回っているのが想像できます。 ・子供達が楽しんで気分の発散ができるスペースが確保されていてとても良いと思います。	・児童が安心して、活動のできる環境を整えています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	67% (10)	7% (1)		26% (4)	・専門知識に乏しいズレた認識で接している方もいると思います。良い所も悪い所も適切に理解をお願いしたいです。	・実践や計画的な研修を通し専門性を高め、適切な支援のできる体制を整えています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境iになっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	87% (13)			13% (2)	・手の洗い方が書いてあるようで、それを見て手洗いで済みたいで助かります。 ・ドアを手動にしたり危なくないよう工夫されていると思います。 ・空間認知は分かりやすく、子供に理解しやすく、分かりやすい構造だと思う。	・児童が理解し、積極的に活動できるよう、視覚的・聴覚的な環境を整えています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	87% (13)			13% (2)	・足裏が真っ黒な時があるので、フロアの掃除をもう少ししてほしい。 ・いつも先生方がきれいにしてくれています。 ・とても清潔でいつもキレイな印象です。 ・カリキュラムに合わせた清潔な空間だと思います。	・常に清潔を心がけています。 ・感染症等、対策を守り、衛生面の安心を保つよう取り組んでいます。 ・清掃に関しては、毎日、チェック表を活用し実施しています。
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画iiが作成されているか	80% (12)		7% (1)	13% (2)	・説明されたのかもしれませんが、よくわかっていなくてすみません。 ・伝えてある事が後手後手であり、その都度伝えるのに疲れてしまうことがある。	・児童、保護者のニーズを受け止め、児童発達支援計画に生かし、内容については、分かりやすい説明に心がけています。 ・発達検査（発達スケール）を契約時に実施し、計画に反映しています。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	73% (11)		7% (1)	20% (3)	・説明されたのかもしれませんが、よくわかっていなくてすみません。 ・スヌーズレンなど、知らなかった療育も取り入れてくださっており、支援の種類も豊富で安心しています。 ・正直はっきりした指針を示されておらず、変化していく子の特性に合わせて伝えられていない。 ・家族支援についてはおろそか。	・児童の実態や特性に合わせ支援のニーズや方向性を確認し、支援計画を保護者と相談、協力し作成しています。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	67% (10)	7% (1)		26% (4)	・説明されたのかもしれませんが、よくわかっていなくてすみません。 ・実際横で見えていないので不明。 ・出来ている所と子に合わない部分をどうするのか説明が欲しい。	・見学と内容説明する機会を設け、説明責任を果たします。 ・常にPDCAサイクルを意識し丁寧な療育の実施に心がけています。
	⑧ 活動プログラムiiiが固定化しないよう工夫されているか	86% (13)	7% (1)		7% (1)	・毎日違うことが行われていてありがたいです。 ・出来る事を増やすのも大切だが、ASD等拘りを無理させず柔軟に対応して欲しい。	・児童の実態に合わせ、計画的に療育を実施します。 ・法人の他事業所とも情報交換を行い、実施しています。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7% (1)	13% (2)	7% (1)	73% (11)	・コロナのために実施できないと先生から聞いています。少しでも交流できると嬉しいです。 ・わかりません。 ・そのような交流の場があれば、お知らせ頂きたいです。 ・まだ交流はない様だが、発言がしっかりしていた子が軟語レベルに会話が戻る時があり、健常児との交流が必要と思う。	・児童同士の交流ができる環境は重要と考えています。時期をみて積極的に取り組んでいきます。
	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100% (15)				・最初に丁寧な説明がありました。 ・非常に丁寧に説明していただきました。 ・入園時、しっかりと説明いただきました。	・引き続き、丁寧な説明をします。

保護者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	86% (13)		7% (1)	7% (1)	・説明されたが、覚えていなくてすみません。 ・入園時示され理解したが、こちらも変化（成長）していく早さについていけない感じが見られる。	・引き続き、丁寧に支援内容を説明し説明責任を果たします。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	13% (2)	7% (1)	13% (2)	67% (10)	・コロナなのでなかなか一緒に活動は難しいのかと感じています。 ・説明されたが、覚えていなくてすみません。 ・入所時に少しお話されたかもしれませんが、その後はそのような話し合いの機会がないように思います。 ・理解度（子供への）が低い事で家での負担が増えた時期があり、事業所側も頑なにならず、すり合わせてほしい。	・家族支援等、時期をみて、お知らせをしたうえで積極的に取り組んでいきます。 ・職員のペアレントトレーニングに関する知識向上のため、施設内研修及び外部研修の積極的な参加を計画的に進めます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか	80% (12)	13% (2)	7% (1)		・連絡を取り合っているので先生方と共有できていると思います。 ・こうしたらくつを脱げる、などのアドバイスありがたいです。 ・連絡ノートを通して、1日のできごとなど知れるのはとても助かります。	・連絡帳等を活用し、児童の状態について、保護者と情報交換をし、共通理解をもって療育を進めています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	53% (8)	20% (3)	7% (1)	20% (3)	・今後あるのかと思っています。 ・面談は定期的にはないけれど助言など支援してくれています。 ・個人面談などで様子等、うかがえたらいいなと思いました。 ・面談はまだないが、助言はその都度いただいている。 ・保育園の延長位で子のセンターでの情報が知りたい。その上でないと家で安定した療育ができない。	・感染症対策に対応しつつも、計画的に保護者面談等を実施します。 ・保護者の見学や相談に対しては、常時、受付を行っています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		20% (3)	40% (6)	40% (6)	・保護者同士の交流は今のところありません。コロナのためでしょうか？ ・コロナで会があるのかわからないです。 ・そのような面談の場があれば、是非お知らせ頂きたくお願いします。 ・ラインや掲示板等があると良いかと思っています。	・保護者会等の開催については、法人全体の流れに従い、感染症対策に対応しつつ、計画的に実施します。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	73% (11)		7% (1)	13% (3)	・保護者の相談にすぐに対応してくださいませ。先生方みんなで行ってくださるのでとても安心できました。 ・相談するとすぐお返事いただけですごく助かります。 ・話し合いの場をお願いしても内容、本質の理解度が低いと感じた。 ・療育の現場なら、もう少し家族への理解、なぜ療育がいるのか考えてほしい。	・保護者等からの申し入れについては、各グループのチーフが中心となり適切に対応します。 ・対応に悩む場合は、施設長、主任に報告し、相談の上、対応をするようにしています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	86% (13)	7% (1)	7% (1)		・コメントを先生方とやりとりしてセンターで何をしてきたのかわかるので良かったです。 ・連絡帳だけでなく、インターネット掲示板やラインなどを活用できないでしょうか？ ・子への伝達は、子により耳が得意な子や視覚が得意な子もいて教え方にもう少し配慮してあげて欲しい。	・引き続き、連携を大切に進めていきます。 ・センターからの情報の発信方法につきましては、個人情報の取り扱いに注意し、利用されている皆様に届く方法を模索します。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	93% (14)			7% (1)	・いつもやることをプリントしてくれているのと、色んな情報もプリントで渡してくれてわかりやすいです。 ・保育園や幼稚園のように、センター内の様子を写真販売などしてほしい。思い出が残らないのは寂しい。 ・掲示板で見た事があり、広報にも少し載っている。	・月だより等を活用し、引き続き、連携を大切に進めていきます。 ・センターからの情報の発信方法につきましては、個人情報の取り扱いに注意し、利用されている皆様に届く方法を模索します。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	73% (11)			27% (4)	・きちんと配慮されていると思う。	・個人情報の取り扱いにつきましては、引き続き、十分に注意をし取扱います。 ・個人情報に関する研修を実施し、職員一人一人が意識的に業務を進められるようにします。

非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	67% (10)	7% (1)		26% (4)	・随時連絡を受けており安心できる。	・常に安全を第一とし、児童、保護者の皆様が安心のできる対策を講じ、説明責任を果たします。 ・各種訓練を消防署や関係機関と連携し実施していきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	93% (14)			7% (1)	・現在、保護者への連絡はTELになると思うのですが、災害時はTELがつかなくなると思います。メール等、(SNS)の連絡方法があるといい。 ・随時連絡を受けており安心できる。	・月1回の避難訓練を実施しています。 ・緊急時の情報発信につきましては、個人情報の取り扱いに注意し、利用されている皆様に届く方法を模索しています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	93% (14)	7% (1)			・毎回、楽しく通っています。 ・いつも楽しそうに行っています。 ・とっても楽しく通えているのが見てとれます。	・職員一同、わかりやすい療育に心がけ、安心・安全な支援を実施します。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	86% (13)	14% (2)			・本人が楽しく、言語も増えてきてとても感謝しています。 ・丁寧に見てくださって感謝しています。 ・全体的にはとても満足していますが、もう少し公開の場や保護者の交流の場を増やしてほしいです。 ・HPの更新の頻度ももう少し増えるとより良いと思います。 ・ケアや特性対応に関して不安はあるが、これからの支援に期待している。	・児童、保護者の皆様のニーズを理解し、集団療育を実施する機関としての努めを果たします。